



たかの
高野 たけし
無所属 45歳

- ・逗子市議会議員（4期）
- ・総務常任委員会委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・議会活性化推進協議会委員
- ・総合的病院に関する特別委員会委員

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

平成30年第1回定例会において、市長より当初予算案が示されました。予算案の総額は339億4,390万円（一般会計：182億2,700万円、特別会計：157億1,690万円）となっています。

◆魅力あるまちづくりが今後の課題

本市の財政は非常に厳しい現状にあります。これは市税収入の落ち込みと義務的経費、特に社会保障費に充てられる扶助費の増加が主な要因と言えます。

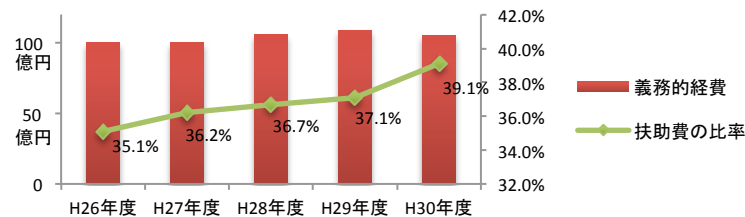
こうした現状を改善していくには、事業の取捨選択を行うと同時に生産年齢人口の増加が必要不可欠です。そのためには子育てや教育環境の充実はもちろんのこと、全市民が受ける住民サービスの向上も重要になってきます。

地方自治体として複合的な魅力を持つことが今後の大きな課題であると考えます。

【一般会計に占める市税収入と義務的経費の推移】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般会計	18,046,311	18,445,229	19,509,682	19,256,031	18,227,000
市税収入	9,770,814	9,759,570	9,481,176	9,408,852	9,203,245
義務的経費	10,043,736	10,023,369	10,583,108	10,874,659	10,549,749

【義務的経費の推移と義務的経費に占める扶助費の割合】



※平成26年度～28年度は決算ベース、平成29年度～30年度は当初予算ベース

政治資金の残り あと 33,465円

(1/1～1/31の内訳)

支出…のぼり	16,848円
名刺	9,180円
布テープ	616円

財源不足の解消を目的に、昨年9月に緊急財政対策の中間報告が、そして10月には最終報告が発表されました。人件費の削減や特別会計への法定外繰り出し金の削減と併せて、178の事業で見直しを行うことに。見直し対象となっていた事業の中には一定の成果を上げているものもありましたが、縮小や凍結、廃止には疑問を感じるものも数多く含まれていたことから、他の議員と連携し再検討を求めた結果、いくつかの事業において平成30年度予算案に反映されました。

◆少人数指導教員・教育指導教員派遣事業

少人数指導教員の廃止

👉 前年度比で約9割の授業コマ数を確保した形で継続。

◆小児医療費助成事業

小学校1年生以上の助成制度を凍結

👉 これまで同様、小学校6年生までを対象に事業を継続。

◆ひとり親家庭等福祉手当支給事業

支給額を段階的に廃止

👉 平成30年度はこれまでと同額を支給することに。

◆特定不妊治療費等助成事業

事業の廃止

👉 補助額を5万円から1万円(年2回まで)に縮小して継続。

◆高齢者センター運営事業

高齢者センター内の浴場を廃止

👉 休止との判断に変更。今後の方向性については再検討されることに。

見直し前の規模に戻された事業もありましたが、市民サービスの低下を招くことには変わりはないので、早期の財政再建に努め、サービス水準の回復に全力で取り組んでまいります。

高野たけしの代表質問

今定例会の冒頭行われた『平成30年度施政方針及び市長提案説明』を受け、市長及び理事者に対し代表質問を行いました。(以下に一部掲載)

◆どうなる!? 総合的病院の誘致

2月1日に開催された三浦半島地区保健医療福祉推進会議において、病床数が50床過剰となる案を採用する見解が示されました。最終的には3月末に決定となりますが、この案が覆ることは想定しがたいと考えています。こうした現状を踏まえると、当初予定していた規模の病院を開設することは難しくなるのではないとも思われることから、開設に向けて病院機能の大幅な変更、さらには開設の取り止めもありうるのか質したところ、タイムスケジュールの変更はありうるが、病院の規模、機能等については当初の計画通り進めていく旨の回答がありました。

また、病床数の確保が予定通り進んでいない現状にあることから、改めて市民アンケート等を実施するよう求めたところ、きめ細やかな市民説明を図りながら、合わせて市民意見の聴取にも努めていく旨の回答がありました。

◆子育て支援環境の整備が転入促進の鍵となる!!

生産年齢人口層の転入促進を考えた場合、子育て支援環境の整備は重要課題の一つであることから、新たな保育所誘致を含めた待機児童解消策に取り組むよう求めたところ、平成31年度までに80名の認可保育所と4か所の小規模保育所を設置できるように進めていくとの回答がありました。

また、企業主導型保育所の進出に関する問い合わせもきているとのことで、早期の待機児童解消に期待が持たれるところです。

◆広域連携で経常経費を圧縮!!

来年度から葉山町の燃やすゴミの全量を逗子市で引き受け、逗子市のし尿の全量を葉山町が処理することとなっています。逗子市と葉山町、双方にとって有益な連携ですが、さらに協定を結んでいる鎌倉市も含めた2市1町での広域体制も模索するよう提言したところ、2市1町で話し合うテーブルを早期に構築し、老朽化が想定される施設整備も踏まえ、ゴミ処理連携について自治体間のコンセンサスを図っていく旨の回答がありました。



市政に関するご意見・ご要望等ありましたらお寄せください。

高野たけし(市政クラブ)

TEL/FAX046-871-7368

E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp

どーなっているの？

市民の皆様からいただいたご意見、ご要望にお答えするコーナーです。

◆利用者目線の水たまり対策

市民の方から、「雨が降ると西駐輪場の精算機の前に水が溜まってしまうので改修してほしい」との声を受け、現地を確認。精算機下のコンクリート部分が道路側から駐輪場の方に傾斜しているため、ちょうど精算機の前あたりに雨水が溜まってしまいうように見えました。

この件について担当所管に相談したところ、雨が降った時には駐輪場の管理者がスノコを敷いて対応しているが、管理者のいない夜間等の場合は対応できていないとのことでした。この精算機の前は自転車やバイクを置いた後と取りに来た際の出入り口にもなっているため、利用者が必ず通る場所であることから抜本的な改善を図っていただくよう要望したところです。



◆ガードレールが・・・

市民の方より、「JR逗子駅前なぎさ通りのガードレールが曲がっている」との連絡を受け現地へ行ってみると、そこには車がぶつかったのか歩道側に大きく傾いているガードレールが。

歩行者、車両共に通行量の多い通りであることから、担当所管に早期の改修を要望したところ翌週には元通りに。担当所管の迅速な対応に感謝です。



市政に関するご意見・ご要望等ありましたらお寄せください。

高野たけし(市政クラブ)

TEL/FAX046-871-7368

E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp